

(手技確認における8つのポイント※)

※(一社)吸入療法アカデミー方式

- ①デバイス保持(垂直) ②カウンター指差し確認 ③通気口の位置確認 ④ボタン・レバー・カバー操作は最後までしっかり行き指を離す ⑤口角を閉じる ⑥吸い方(強く深く:掃除機のように) ⑦息止め(指折り5つ) ⑧うがいは必ず行う(ガラガラ、ブクブク各3回)



吸気により吸入量の低下が起る可能性があるため、誤ってカプセルを2個出してしまった場合はそのカプセルは破棄してください

《吸入映像》※1

(毎日の操作)

(注意点)



*あなたのウイークポイントにチェック☑していますので参考にしてください。

(約1分50秒)

(約1分)

	セット後は、吸入器を傾けると薬剤がこぼれることがあるので振ったり、逆さにしない	ポイント
① 薬剤の準備	<ul style="list-style-type: none"> □ 薬剤セット時の操作は吸入器を垂直に持ち行う □ キャップを外し、吸入口を開ける (A) □ アルミシートから取り出したカプセルを充填部 (穴) へ入れる (B) □ 吸入口をカチッと音がするまで閉じる (C) □ 両側のボタンをカチッと音がするまで同時に押し、ボタンを離す(カプセルに穴があく) (D) 	<ul style="list-style-type: none"> • ボタンを何回も押すと、カプセルが破損して正しく吸えない • ボタンを押したまま吸わない
② 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> • 息吐きと吸入をそれぞれしっかりしていただくために、息吐き後一旦息を止め吸入する 	<p>呼気量≒吸気量</p> <ul style="list-style-type: none"> • 息吐きをしないとしっかり吸えない
③ 吸入	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入口をくわえ、口角を閉じ、強く深く、最後まで息を吸い込む (カラカラとカプセルの震える音が聞こえる) (通気口をふさがない) 	<ul style="list-style-type: none"> • 息がもれないように口角を閉じる • 掃除機でかき集めるイメージで吸う
④ 息止め	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入器から口を離し、口を閉じ、指折り5つ息を止める (無理のない程度で良い) 	<ul style="list-style-type: none"> • 肺により多くの薬を定着させるため
⑤ 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> □ 鼻からゆっくりと息を吐く 	<ul style="list-style-type: none"> • 口から吐くと速くなることがある
線返し	<ul style="list-style-type: none"> • 吸入口に息を吹きかけないようにする意味も込めて鼻から抜くことが良い • ステロイドに限っては鼻腔内における抗炎症作用が期待できるとの報告がある 吸入後に鼻から息を吐きだすことで気管支などに定着できなかった薬が鼻の中に定着する その為、吸入後に鼻から息を吐きだすことでアレルギー性鼻炎や好酸球性副鼻腔炎に効果が期待できる 	
⑥ 後片付け	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入口を開け、カプセル内に粉末が残っていないか確認し、手に触れずカプセルを捨てる □ 吸入口を閉じた後、キャップをしっかり閉じる 	<ul style="list-style-type: none"> • キャップを閉じる前に吸入口を拭く
⑦ うがい	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入後はガラガラうがい、ブクブクうがいを各3回ずつ行う 	<ul style="list-style-type: none"> • 口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚔声などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをする
それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うようにする

①企画より著者の許可を得て使用

保険調剤薬局名 (薬剤師名) : _____ 年 月 日